

平成22年5月

漁船海難隻数 (速報値)	
衝突	3
乗揚	2
転覆	2
浸水	2
推進器障害	0
舵障害	0
機関故障	0
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航阻害	0
安全阻害	0
その他	0
合計9隻	
県別 (内訳)	
山口県	4
福岡県	2
佐賀県	0
長崎県	2
大分県	1

漁船人身事故者数	
負傷	3
病気	0
海中転落	0
その他	0
合計3名	

▶ 自分が海中転落した場合は？

- ① 落ち着く
大きく深呼吸します。人はこのような場合、パニックに陥っています。自分を冷静に見直すことが一番重要です。大きな深呼吸をすることで、落ち着き冷静になれます。
- ② 焦らない
付近に船舶を発見することができなくても、必ず助かるとの信念を持って救助を待ちます。焦れば焦るほど体力を消耗するのでゆっくりと構えましょう。
- ③ HELP
水中で運動すればするほど体熱が奪われエネルギーのロスになります。可能な限りじっとして保温に努めましょう。HELP(Heat Escape Lessening Posture:熱放出低減姿勢)をとりましょう。
- ④ 上陸
付近に岩場等がある場合、波が穏やかであればそのまま、岩場の上陸してください。しかし、磯波等があり危険な場合は逆に沖に向かって移動しましょう。



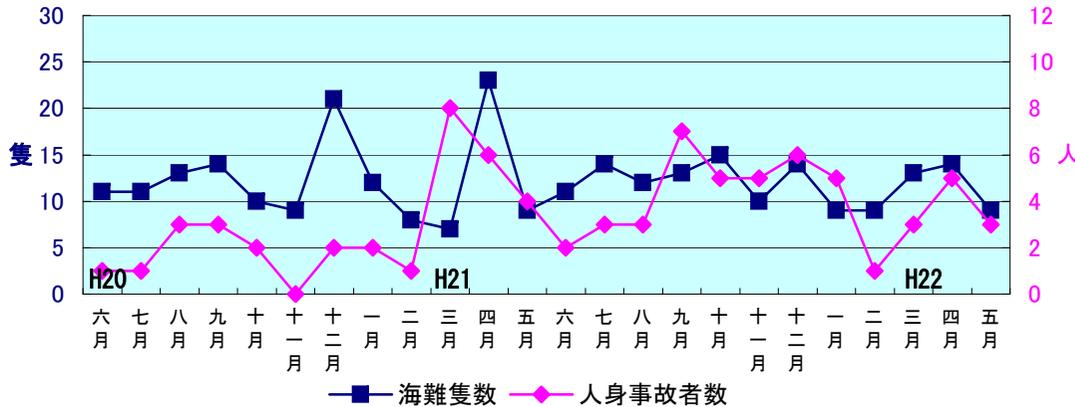
HELP(熱放出低減姿勢)

はとた船そ明者ち亡覆先
いこ小もでの八と合一年し海先
ずろ型のあ他隻な計一件しま難月
れでのとりはのつ一は無入た。に引
もす漁見、いうて一人人っ。生し
救が船らほずちい名の係、し、続
命、のれとれのまのすう留、き、
胸死危てんも一。ち中漁乗船者
衣亡険いど乗隻。七の船者二名
を着・性まが船は一六のののの
用方以。風や、トの方一がの
して不明から高二ンが死生難は
いまとな指摘されたり、こ
ませなつた七のり、方乗の
んで七名たのい
たの。方

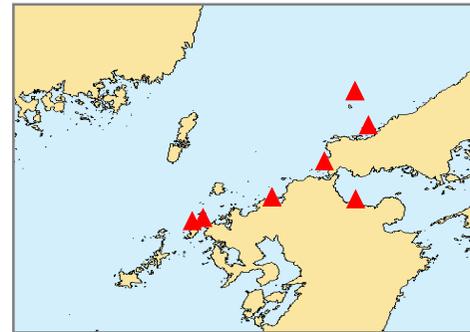
漁船転覆海難続発

漁船海難月報 (速報)
平成二十二年五月分
第七管区海上保安本部

漁船海難発生隻数及び漁船における人身事故者数の推移



平成22年5月 漁船海難発生地点図



本資料は、第七管区海上保安本部管内の海上保安部担任水域内で発生した海難を取りまとめたものです。県別の表は、各県に所在する海上保安部署において取り扱った海難の合計数を示しています。